

平成 29 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
 (コード番号: 4570)
 本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
 代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
 問 合 せ 先 取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
 電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
 U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

- (1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値の修正
 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	800	△180	△180	△190	△28 円 14 銭
今回修正予想 (B)	741	△1,156	△1,170	△2,094	△287 円 52 銭
増減額 (B - A)	△59	△976	△990	△1,904	
増減率 (%)	△7	-	-	-	
前期実績 (C) (平成 28 年 3 月期)	717	△75	△81	△31	△4 円 86 銭
増減額 (B - C)	+24	△1,081	△1,089	△2,063	

(2) 修正理由

売上高につきましては、診断・試薬事業において、牛海綿状脳症測定キットの販売において、検査対象の減少等の影響により、大幅に減少したものの、受託サービス及び抗体販売の売上が大幅に増加したため、予想を上回る結果となりました。しかしながら、遺伝子組換えカイコ事業において、大手体外診断用医薬品企業の開発費縮小等により、抗体作製受託サービスの売上が、予想を下回る結果となりました。また、検査事業における、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス

(LipoSEARCH) は、海外の学会展示によるプロモーション活動を積極的に展開し、大幅に売上高は増加となりましたが、国内における大型案件が減少し

た結果、予想を下回る結果となりました。さらに、化粧品関連事業につきましては、化粧品原料「ネオシルク・ヒトコラーゲン」及びネオシルク・ヒトコラーゲン配合化粧品「フレヴァンシリーズ」の引き合いは、増加しているものの売上計上に至らず、予想を下回る結果となりました。上記の結果、売上高は当初公表した業績予想を下回る結果となりました。

営業利益につきましては、当第2四半期より稼働している前橋研究所の使用用途において、遺伝子組換えカイコの繭から産出されるフィブリノゲンやHIV治療薬をはじめ医薬品原料シーズの研究開発項目の増加等により、研究開発拠点としての意味合いが増加したため、当期末において、同施設で資産計上していた設備等を研究開発費として941,704千円を一括計上することと致しました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日発表致しました「営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ」及び「連結子会社におけるのれんの減損及び株式の減損並びに固定資産の減損の処理による特別損失計上に関するお知らせ」並びに「当社における固定資産の減損の処理による特別損失計上に関するお知らせ」のとおり、営業外費用及び特別損失を計上致しました。

当社グループの利益は、マイナスとなっておりますが、遺伝子組換えカイコを用いた医薬品の実用化を目指し、人員の増強やパイロットプラント（前橋研究所）における研究開発を積極的に行っていることによるものです。また、今後も引き続き遺伝子組換えカイコを用いた医薬品原料の研究開発に投資して参ります。

なお、平成29年3月期連結貸借対照表における、現金及び預金の残高は、2,574,252千円となっております。

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以上